

第IV章

計画の推進にあたって

本章では、この計画を推進するにあたっての体制、進行管理、評価について述べています。

第4章 計画の推進にあたって

1 計画の推進について

次世代育成支援行動計画の推進にあたっては、子育てがしやすいまちづくりの視点から支援対策を総合的に展開していきます。そして、全庁的な体制の下に、各年度においてその実施状況を把握、点検し、その後の対策を実施していきます。

(1) 推進体制

- ・次世代育成支援対策地域協議会

浜松市における次世代育成支援対策の推進を図るため、本計画の進行状況や内容について審議します。

自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、公募による3名の委員などで組織されています。

- ・次世代育成支援行動計画推進庁内連絡会

福祉、保健、教育など幅広く各分野との連携が求められていることから、浜松市の関係各課の担当による庁内組織を設置し、本計画の進行について調整します。

(2) 計画の進行管理

各事業の目標指標を定め、その指標を達成することができるよう事業を推進していきます。事業の実施状況や効果などの評価を行い、毎年1回実施状況を「広報はままつ」や市のホームページで公表していきます。

(3) 次世代育成支援行動計画の評価

次世代育成支援行動計画が、どのような効果をもたらしたかということについては、この計画の基本理念を「子育てがしやすく楽しいと感じられるまち浜松」としてを受けて、子育て中の方を中心に、一般市民の方も含め、「どの程度、子育てがしやすくなっている」と感じられるかを調査し、この計画の評価をしていきます。具体的には、毎年実施している「市民アンケート」で「子育てがしやすいつと感じられるようになったかどうか、楽しいと感じられるようになっているか」などについての「満足度」をお聞きし、その結果を指標として評価を行っていきます。

また、個々の事業についての認知度なども調査すると同時に、子ども館や、子育て広場の利用者や育児サークルのメンバーなどに、定期的にグループインタビューなどを行い、実際の利用者から、直接の声として「子育てがしやすく、楽しいと感じられるようになっているか」などが実感できるような評価を行っていきます。

【計画評価の方法】

- ①「市民アンケート」…………… 事業の認知度や、一般的な印象として「子育てがしやすいと感じられるようになっているか」などの質問を行い、評価を行う。

- ②「グループインタビュー」…… 育児サークルや、子育て関連の施設に訪れている親子に、施設への要望や、使い勝手などの調査を行う。また、「子育てがしやすいと感じられるか」などの視点で、グループインタビューを行い評価をする。

- ③「懇談会の開催」…………… 次世代育成支援行動計画の進行状況などについての懇談会を定期的に行い、利用者や子育て支援関係者の視点から、各種の事業の進行などについて意見を聞く機会を設け、計画の見直しや修正に反映させていく。

計画の初年度では、行動計画を公表し、市民に広く周知していきます。その後、計画を推進するため、関係機関との連携をはかり、市民アンケート、グループインタビュー、懇談会などで意見をいただき、市民協働の視点で、計画の推進に努めます。

また、市民から公募した委員も含めた次世代育成支援対策地域協議会で毎年の取り組み状況の確認をしていくことにより、子どもと子どもを取り巻く環境のさまざまな課題に対応していきます。